

住民要求実現、いつせい地方選挙勝利めざす

## 「党活動強化・年末募金」へのご協力をお願いします。

寒さが一段と厳しさを増してきたこの頃ですがおかわりなくお過ごしでしょうか。日本共産党への日頃のご支援・ご協力に心より感謝を申し上げます。

私たちは、参議院選挙の結果を重く受けとめ、真剣な自己分析と総括を行い党活動の刷新をはかりながら、来年のいつせい地方選挙勝利と次期国政選挙での巻き返しをめざし活動を強めています。

十月に行われた草加、鳩ヶ谷の市議選では、切実な市民要求を前面にかかげてたたかい草加市で参院比例票の一・七倍の得票で一議席増の五名全員当選、鳩ヶ谷市で参院比例票の二・一倍の得票で四名全員当選、「議会招集権」獲得という勝利を勝ち取りました。

四年ぶりの「赤旗まつり」も、十万人を大きく越える人が参加（北部地区からバス十七台で二〇〇〇年代で最高の参加）し、いつせい地方選挙にむけた総決起の場として成功を納めました。私たちは、こうした前進的成果を確信に、さらに活動の強化をはかり、いつせい地方選挙で必ず前進・勝利する決意です。

菅・民主党政権が、危機にある国民の生活と営業を救済する手だてを示すことができず、逆に、より目利党的な政治を推しすすめるもとで、住民の暮らしと福祉はますます深刻になっています。

地区内各地で「国保税が高くて払えない」「リストラで職を失った。何とかならないか」などの生活相談が相次いでいます。日本共産党の議員は、こうした生活相談に懇切にこたえながら、地方自治体が「住民の暮らしと安全を守り、福祉の増進に努める」という本来の役割を發揮するよう「住民こそ主人公」の立場で献身的に活動しています。

日本共産党埼玉北部地区委員会は、こうした議員を一人でも多く議会に送りだすために、来春のいつせい地方選挙で、積極的に候補者を擁立し全員の必勝をめざし全力でたたかいます。

このとりくみを年内から本格的に強化するために、活動を財政的に支え、党の中軸を担う専従職員の生活を保障する「党活動強化・年末募金」にとりくんでいます。

日本共産党は、企業・団体からの献金を受けとらず、日常の経費や選挙費用を党員が納める党費と「しんぶん赤旗」の購読料の一部、党員や支持者のみなさんからの心のこもった募金によって支えられています。

こうした日本共産党の財政活動をご理解いただき「党活動強化・年末募金」へのご協力をよろしくお願い致します。

二〇一〇年十一月

日本共産党埼玉県委員会

委員長 小松崎 久仁夫

日本共産党埼玉北部地区委員会

〇四八―五八一―〇一二三

委員長 大野 辰男